

Zoom
セミナー !!

LIVE+アーカイブ
配信1週間視聴可

【PC演習付き】統計的分布には頼らない、利益損失を防ぐ、
自社と顧客の経済的リスクを根拠にした
「安全係数と検査基準・規格値」決定法
【損失関数の基礎と応用】
～JISに準拠し、勘コツ経験に頼らない合理的な安全係数と規格値の検討方法～

◆日 時：2022年7月21日(木) 10:00～17:00 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円
◆会 場：WEB受講のみ (Zoomシステム) 同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名:44,000円
※1週間の録画視聴あり(当日都合の悪い場合は、録画視聴にて受講可能)

安全係数と閾値、不良率と工程能力指数と損失関数の関係、実践的な全係数(安全率)と規格値(閾値、公差、許容値)の決定方法について、
PC演習を交え、実務経験豊富な講師が丁寧に解説する特別セミナー !!

【講師の言葉】

本講座では、安全係数(安全率)・規格値(閾値、公差、許容差)の合理的な決定方法を求めている方、市場クレームが減らないという課題をお持ちの方、かけたコストに見合った生産品質改善が得られているかを明確にしたい方々に、経済性を根拠に合理的に安全係数(安全率)、規格値(閾値、公差、許容差)を決定する方法である『損失関数(JIS Z 8403)』について、詳細に解説いたします。加えて、事例演習を行い、実践的な安全係数と規格値(閾値、公差、許容差)の計算方法を身に付けいただきます。製造業では、市場での事故や問題発生を防ぐために、製品に対して開発・設計時に安全係数を設定し製品仕様之余裕を持たせ、量産展開時には不良品判定を行う規格値管理(閾値判定)を行い、良品のみを出荷しています。
しかし、それでも製品が市場で事故や問題を起こす場合があります。また、生産で不良率を管理し、トラブル時は規格値・公差を厳しく設定しなおしても、市場クレームが減らず、コストのみが増大することもあります。このような場合、安全係数や規格値に対する根本的な考え方に誤りがあるケースがほとんどです。開発・設計時の安全係数、量産展開時の規格値を決定する際、何を根拠に決定しているのでしょうか？
また、その安全係数、規格値は顧客満足を高め、同時に企業の経済性を考慮した決定でしょうか？本講座で解説する手法を使うことで、勘コツ経験から脱却し、品質とコストのバランスが取れた安全係数と規格値を合理的に決定することが可能になります。

【受講形式】 WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。
Zoomアプリのダウンロードをしなくとも、ブラウザからの視聴が可能です。

【受講対象】 ・製品開発、要素技術、生産システム、加工技術などの技術者、及び管理職 ・品質管理部門の技術者、及び管理職
・重大事故を避けるための安全係数、許容差の合理的な決定方法を求めている方
・安全係数、閾値の設定を勘コツ経験から脱却したいと考えている管理者の方
・顧客に迷惑をかけず、自社の経済性も考慮した安全係数、閾値の設定を行いたい方
・生産における不良率管理で、市場クレームが減らない課題をお持ちの方
・生産における工程能力指数を元に生産改善を行う場合、かけたコストに見合った生産品質改善が得られているか明確にしたい方
・品質工学の重要概念の1つである損失関数を学びたい方

※技術コンサルタントの方や、講師業の方は、受講をご遠慮ください。
企業/大学等への所属有無を問わず、社外に対して技術指導・講演・発表・専門書の執筆・専門誌への寄稿等をされている方は、受講をお断りしております。※上記につきまして、申込後にご確認させていただく場合がございます

【予備知識】 特に必要ありません。

【習得知識】 1) 重大事故を避けるための安全係数、許容差の合理的な決定方法
2) 顧客に迷惑をかけず、自社の経済性も考慮した安全係数、閾値の決定方法
3) 生産における不良率管理で市場クレームが減らない理由と解決方法
4) 工程能力指数改善の問題点と改善費用対効果を明確にする方法
5) 品質工学の重要概念『損失関数』(JIS Z 8403(製品の品質特性－規格値の決め方通則))の基礎知識と演習 など

【持参品】 Excel 2010ファイルが使用可能なノートパソコン。※オンラインセミナーにおけるパソコン環境推奨
・20インチ以上のディスプレイ、オンライン聴講画面、Excelファイルを1画面に同時に表示して受講。
・デュアルディスプレイにし、オンライン聴講画面、Excelを表示。
・2台のパソコン、Excelファイル、オンライン聴講画面を使用して受講。
なお、上記環境は推奨です。上記環境をご準備できない場合でも、多少煩雑にはなりますが、画面を切り替えていただくことで受講いただけます。

◆ プログラム ◆

【講師】 MOSHIMO研 代表 福井 郁磨 先生
元元オムロン(株)、元パナソニック(株)、元東レ(株)、元LG Electronics Japan Lab(株)
人工知能・品質工学を中心とした製造業への技術課題・解決支援を実施中

1. 品質工学概要
1) 品質工学とは 2) 損失関数の位置づけ

2. 安全係数、閾値の概要
1) 安全係数(安全率)、閾値(許容差、公差、工場規格)の関係
2) 機能限界の考え方
3) 基本計算式
4) 損失関数の考え方(数式の導出)

3. 不良率と工程能力指数と損失関数の関係
1) 不良率の問題点
2) 工程能力指数とは
3) 工程能力指数の問題点
4) 工程能力指数を金額換算する損失関数とは
5) 生産工程改善の費用対効果検討方法

4. 安全係数(安全率)の決定方法
1) 不適正な安全係数の製品による事故ケーススタディ

2) 適切な安全係数の算出
3) 安全係数が大きくなる場合の対策
(安全設計の有無による安全係数の差異)

5. 閾値(許容差)の決定方法ケーススタディ
1) 目標値からのズレが
市場でトラブルを起こす製品の閾値決定
2) 騒音、振動、有毒成分など、
できるだけ無くしたい有害品質の閾値決定
3) 無限大が理想的な場合
(で目標値が決められない場合)の閾値決定
4) 応用:部品やモジュールなどの閾値決定
5) 参考:製品、部品の劣化を考慮した初期値決定と
閾値決定

6. 全体質疑応答
※説明の順序が入れ替わる場合があります。

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法
・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法
受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
振り込み手数料は御社の御負担にて願います。

●申込先



(株)TH企画セミナーセンター
〒108-0014 東京都港区芝4-5-11-5 F
TEL: 03-6435-1138
FAX: 03-6435-3685
E-mail: th@thplan.com

検索

TH企画

→

サイト内検索

0721

(開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

https://www.thplan.com/

●申込書 ・2022年7月21日(木)「統計的分布には頼らない、利益損失を防ぐ、自社と顧客の経済的リスクを根拠にした「安全係数と検査基準・規格値」決定法【損失関数の基礎と応用】」

会社名		〒		住所	
TEL				FAX	
正式所属				正式所属	
受講者名				受講者名	
E-mail				E-mail	
振り込み 予定				通信欄	